

各 位

2022年11月14日

会社名 河 西 工 業 株 式 会 社  
 代表者名 代表取締役社長 社長役員 渡邊 邦幸  
 (コード：7256 東証プライム)  
 問合せ先 取締役専務役員 半谷 勝二  
 (TEL：0467-75-1125)

## 2023年3月期 通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2022年11月14日開催の取締役会において、2022年5月16日に公表いたしました2023年3月期通期連結業績予想を修正することを決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

### 記

#### 1. 通期連結業績予想について

##### (1) 2023年3月期 通期連結業績予想 (2022年4月1日～2023年3月31日)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に 帰属する当期 純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 180,000	百万円 1,200	百万円 1,600	百万円 0	円 銭 0.00
今回修正予想 (B)	187,400	△12,600	△12,700	△13,500	△348.90
増 減 額 (B-A)	7,400	△13,800	△14,300	△13,500	—
増 減 率 (%)	4.1	—	—	—	—
(ご参考)前期実績 (2022年3月期)	147,474	△12,185	△10,356	△19,032	△491.87

#### (2) 公表の理由

##### ① 3期連続の大幅赤字見通し

一昨年の世界的な新型コロナウイルスの拡大、昨年の半導体不足問題からの混乱を経て、本年度は経営の  
 スリム化や生産エリア最適化戦略の実施に取り組み、営業黒字を目指してまいりました。しかしながら、材料  
 価格や労務費の記録的な高騰、新型コロナウイルスの封じ込めのための上海ロックダウンに伴う減産及び自  
 動車メーカーの不測かつ短期的な生産計画変動など、相次ぐ経営環境の悪化は社内での改善活動の努力を大  
 きく上回りました。

特に北米地域において業績の悪化が顕著で、原油価格上昇に伴う原材料・物流費高騰や労務費の上昇、新規  
 車種立ち上げ費用の増加等によるコストの悪化に加えて、大幅な円安での為替換算により、売上及び赤字が

増加する見通しとなりました。

物流コスト増は、グローバルでの最適地での効率的な生産体制への変革を目指した主要施策に著しい足枷となりました。結果、過去2期に引き続き大幅な赤字を計上する見通しとなりました。

②資金面の安定

厳しい環境下にあります。お取引金融機関からはこれまで通りご融資を頂いている資金の残高維持をいただいているほか、主力銀行であるりそな銀行には資金繰りを万全とするために、合計で75億円の資金枠を供与して頂いております。内45億円は9月末に新たに追加で供与を頂いたものです。

弊社ではグループ会社を含め売却可能な資産の売却により確保した資金を運転資金に充当していることもあり、これまでのところ、主力銀行から供与された75億円の資金枠は利用しておりません。

③足元の業績推移

今回発表の通期見通しでの営業利益水準は、上期の▲82億円に対して下期は▲44億円（通期▲126億円）を見込んでおります。下期以降は日本地域とアジア地域における固定費削減及び北米地域における材料費高騰分の得意先への転嫁が進むことで赤字幅が縮小することを見込んでおります。

④来期以降の事業計画

来年度以降の事業計画については、北米を中心として抜本的な構造改革を進めることなどを含めて既に着手しておりますので、出来次第すみやかにお知らせをしていく予定です。

(注) 上記の業績予想等につきましては、当社が現時点までに入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって上記予想と異なる可能性があります。

以 上